

茨城県海域のアカムツは カンネコ根のシーズンへ

●茨城のアカムツはこれから第2ラウンド



▲カンネコ根の水深は130～150メートル前後と浅いのが特徴



◀ハリ数は規定で2本まで。オモリは120号を基準に念のため150号も用意しておきたい
▼船で販売しているエサはホタルイカ。釣れたサバを切り身にするのもいい



▼水深が浅いからアカムツ入門にも最適



▲オキメバルは定番ゲスト ▶アラも船中2尾釣れた



▲力強い引きで登場したのはメダイ ▶マヅイはうれしいゲスト



犬吠埼沖が禁漁となり、茨城県海域のアカムツ釣りはこれからカンネコ根が主力ポイントになる。鹿島新港からの出船では1時間ほどの航程で、ポイントの水深は130～150メートルほど。今シーズンは6月に入ると同時に釣れ始め、トップは規定の8尾を釣り上げた船もあった。取材日はあいにく数はのびなかったが、多彩なゲストがクイラーを賑わせてくれた。カンネコ根のアカムツはこれから年末までのロングラン、今後の本格化に期待したい。(詳細は58ページ参照)



◎茨城県鹿島新港・桜井丸 桜井 正雄船長